



9月号
(第437号)

武庫川女子大学
附属中学校・高等学校
総務部



自分の将来をどう生きるか ——吉田松陰の言葉から学ぶ——

進路指導部長 大崎 剛史

私の好きな歴史上の人物の一人に、幕末の思想家・吉田松陰（一八三〇～一八五九）がいます。彼はわずか二十九歳という短い生涯の中で、山縣有朋といった人物が育っています。激動の時代を生きた松陰の言葉や行動は、現代の私たちにも、自分の将来や進路を考えるうえで大きなヒントを与えてくれます。

吉田松陰は「志なくして人は成らず」と説きました。「志」とは、単なる夢や願望ではなく、「自分は何のために生きるのか」「何を目標として努力するのか」という人生の方向性のことです。中高生の皆さんにとって、将来の進路を考えることは、自分の「志」を少しずつ見つけていく過程ともいえます。すぐに答えが見つからなくてもかまいません。でも、「どんな自分になりたいか」「社会の中でどんな役割を果たしたいか」と、時々立ち止まって考えることが、確かな一歩になると思います。

また彼は「学は人たる所以（ゆえん）を学ぶなり」という言葉も残しています。学ぶことは、単に知識を増やすためだけでなく、「どう生きるか」を考えるための手段だ、という意味です。テストや受験のためだけでなく、将来自分が社会でどう貢献するか、その土台を築くために学ぶ——この視点を持つだけで、日々の学びがぐっと意味あるものになっていくでしょう。

吉田松陰の教えは、一方的な知識の伝達ではありませんでした。彼が多くの人を教えた「松下村塾」では、身分や年齢に関係なく、熱意のある者には誰にでも門戸を開きました。そして、教えるというよりも、共に語り、共に考える姿勢を大切にしました。これは、現代の学びにも通じるものです。友人との対話、先生とのやりとり、日々の疑問や気づきの中にこそ、本当の学びがあるのだと、私は思います。

もう一つ、彼が私たちに教えてくれるのは「行動する勇氣」です。彼は海外の技術や文化を学ぶため、実際に黒船に乗り込もうと試み、失敗して捕らえられる、という経験をしています。それでも、自分の信念を曲げることなく、「今、自分にできること」に全力で取り組みました。将来に不安を感じることがあっても、まずは一歩を踏み出すこと、自分の可能性を信じて行動することが、道を切り拓く鍵となります。

進路や将来を考えるとき、答えがすぐに出ないこともあります。しかし、「自分は何のために学ぶのか」「どんな自分でありたいか」を問い続けることは、何より大切です。吉田松陰の生き方は、そうした問いを持ち続け、学び続け、行動し続けることの大切さを私たちに教えてくれます。二学期が始まり、高校三年生、中学三年生はまさに目の前に自らの進むべき道の選択がせまってくると思います。皆さん一人ひとりが、自分の「志」を見つけ、それに向かって進んでいくことを願っています。

夏休みの生徒たちの活躍

——高校一年GSツアー——

一日目

高校一年GSコースは、新大阪駅から新幹線で東京方面へ出発し、七月二十九日（火）～八月一日（金）四日間の研修「GSツアー」を実施しました。

最初の訪問先は東京大学本郷キャンパスです。赤門で記念撮影をした後、工学部の藤井先生から、理学と工学の違いや交通流シミュレータを用いた研究について講義をいただきました。交通をシミュレ

ションによって分析・予測する研究内容に、生徒たちは強い関心を寄せていました。その後、現役の東大生との座談会では、大学生活や研究の話題で質問が相次ぎ、大いに盛り上がりました。夕食後は班ごとに学びを整理し、報告会を行いました。



二日目

午前は株式会社コーセーを訪問し、化粧品の開発や環境への取り組みについて学びました。スキンケアに関心のある生徒も多く、真剣に耳を傾けていました。午後は国立科学博物館を見学し、日本列島や自然の歴史、古代生物や人類の進化に関する多彩な展示を時間をかけて鑑賞しました。夜は班ごとに意見をまとめ、発表を通して学習をさらに深めました。

三日目

東京グローバルゲートウェイにて、一日英語漬けの研修に取り組みしました。空港やレストランでの会話練習から始まり、火星での生活や日本のおもてなしをテーマとしたディスカッション、ニュース取材体験など、体験型のプログラムを通して実践的に英語を使う経験を積みました。

四日目

最終日はバスで横須賀市のJAMSTEC（海洋研究開発機構）を訪問しました。有人潜水調査船「しんかい六五〇〇」の実物大模型を見学し、深海探査や海底資源の研究について学びました。続いて横浜研究所では、スーパーコンピュータ「地球シミュレータ」を見学し、地震研究に関する講義を受けました。生徒たちは先端科学の現場に触れ、多くの刺激を受けました。

今回のGSツアーを通して、生徒たちは大学・企業・研究機関での多様な学びに触れ、自らの進路や将来を考える上で大きな糧を得ることができました。多彩な訪問先で学びを深め、充実した研修となりました。

——中学三年サイエンスツアー——

一日目

中学三年生CSコースは、七月二十九日（火）から七月三十一日（木）、東海・関東方面へサイエンスツアーに行ってきました。

新大阪駅を出発し、世界遺産「葦山反射炉」を見

学しました。江川英龍の取り組みや大砲製造の歴史について説明を受け、生徒たちは熱心に耳を傾けました。続いて「沼津港深海水族館シーラカンスミュージアム」では、深海生物や冷凍保存されたシーラカンスを観察しました。夜は宿舎で報告会を行い、学びを共有しました。



二日目

午前は「山梨県立富士山世界遺産センター」で展示解説を受け、多くの質問をする姿が見られました。その後「富岳風穴」で富士山内部の自然環境を体感しました。午後は「山梨県立リニア見学センター」でリニアモーターカーの仕組みを学び、実際の走行試験も見学しました。

三日目

午前は神奈川県海老名市の「株式会社メディカルガーデン」を訪問し、調剤薬局の見学やスタッフとの座談会を通じて医療現場を学びました。午後は「JAXA相模原キャンパス」で小惑星探査機「はやぶさ」など宇宙開発の成果について説明を受け、職員の方々と積極的に質問しました。

三日間を通して、生徒たちは主体的に学び、確実に成長を見せてくれました。中学一年から続けてきたサイエンスツアーの集大成にふさわしい研修となりました。

——中学二年GSツアー——

中学二年生GSコースは、七月二十八日（月）～三十日（水）の日程で名古屋方面へ研修旅行に行ってきました。

一日目は、犬山市の「日本モンキーセンター」を訪問しました。高野智先生の講義やフィールドワークを通じて、多様な霊長類の生態について学びました。夕食後には班ごとの報告会が行われ、活発な質疑応答を通じて研究の視点をさらに深めることができました。



二日目午前は「トヨタ産業技術記念館」にて、織機から自動車産業へ発展してきた歴史と技術革新について

て学びました。生徒たちは各自で調べた内容を班内で共有し合い、新しい研修方法に挑戦しました。午後は「名古屋科学館」を訪れ、学芸員の特別講義を受け、日本のロケット開発やプラネタリウム観賞を通じて最新の天文学に触れることができました。

最終日の三日目は、日本で唯一営業運転しているリニアモーターカー「リニモ」の体験乗車と車両基地の見学を行い、磁気浮上技術の仕組みを学びました。午後には「トヨタ会館」で最新の自動車技術や未来のモビリティについて見学し、自動車産業の可能性を実感しました。

三日間の研修を通じて、生徒たちは科学技術の発展や研究の重要性を体感し、主体的に学ぶ姿勢を育むことができました。今後は研修成果をレポートやポスターにまとめ、発表へとつなげていきます。

リーダートレーニング

リーダートレーニングが八月二十一日（木）・二十二日（金）丹嶺学苑研修センターで行われました。参加者は例年と同じく全学年の学級正副委員長、会、風紀委員会、庶務委員会、美化委員会、保健委員会、図書情報委員会、各学年代表、副代表、これに加えて次年度から始まる予定の生徒会執行部候補者から八名の生徒が参加しました。



今年のリーダートレーニングの目標は、「一緒に頑張りたいと思わせるリーダーになる」でした。世良田校長先生による講話や、アイスブレイクでのアクティビティ「it-o」「速攻チームデイスカッション」「やらかし日記」などのさまざまなトレーニングプログラムを実施しました。また二日目には、次年度の生徒会や委員会のあり方などについて話し合いを行いました。皆で全校スローガンである「心華（しんか）」を目指し、「対話力」「共感力」「適応力」「問題解決力」「協調力」の五つの力を養う充実した研修となりました。

参加した中学一年生の生徒は、「様々な意見交換を通して、他者の意見を尊重することが大切だと改めて感じ、私もそんな先輩のような全員の意見を尊重できる人間になりたいと思う研修でした。」と感想を述べてくれました。

第十七回 科学交流研修会

「二〇二五サイエンスコラボレーション」in 武庫川

七月二十二日（火）、二十三日（水）の二日間、豊岡高校、西宮東高校とともに、第十七回科学交流研修会を行いました。



一日目は、七つの研究室に分かれて、大阪大学や神戸大学、武庫川女子大学の研究室で、感染症ワクチン、インプラント手術、ラマン分光分析、食品開発、マイクロプラスチック調査、分子生物学実験など、最先端の学びや実験を体験しました。

二日目は、一日目に学んだことや実験結果を班でまとめ、全体で発表会をし、質疑応答をする場となりました。各発表において、積極的に質問が寄せられていました。二日間とはいえ、確実に探究力を養えたと思います。最後に本校生徒が、「先生方の問いかけから多くを考えることができ、貴重な経験になりました！」と感想を述べ、研修会全体を終えました。来年もさらに多くの学校が参加し、「質問力」「聞く力」「対話力」「創造力」を育む研修になることを期待しています。

11th Science Conference in Hyogo

七月十二日（土）に神戸大学一〇〇周年記念館で行われた11th Science Conference in Hyogoに、高校三年CSコースの生徒が参加しました。



全体では、兵庫県下のSSH校を中心とした十五校とROOT（国際的科学技術人材育成）プログラムから、計三十七のサイエンスに関する研究グループが参加し、英語で研究発表およびディスカッションを行いました。

午前中の基調講演は、アイルランド国立大学の博士研究員、オ・ロクリン・コナー氏による「バイオリアクター中でのシイタケ培養」について、英語で講演があり、その後のQ&Aもすべて英語で行わ

れました。

午後から行われた研究発表+Q&Aもすべて英語で行われ、会場内は「ここが日本であることを忘れるような雰囲気」に包まれていました。

参加した生徒たちは、次第に英語でのやりとりにも慣れて、Q&Aでは、相手の目を見ながら頭をフル回転させ、全力で英語でのディスカッションを満喫していました。彼女たちの表情には、達成感、満足感、そして、少し自信めいたものも見られました。

全国SSH生徒研究発表会

八月六日（水）・七日（木）に、神戸国際展示場で「全国SSH生徒研究発表会」が行われました。



全国二〇〇校のSSH指定校と本校を含む八校のSSH経験校の高校生が集まり、高校生最高レベルの研究発表が行われました。

本校からも高校三年生CSコースの四名が「植物粉末による建材への加工」をテーマに発表し、ディスカッションを楽しんでいました。この発表会に向けて準備してきた過程で、改めて深く考え、仮説と裏付け理論の考察を繰り返すことで、沢山のことを学びました。二日目は、全国SSH指定校二〇〇校から選ばれた優秀校六分野十二校のプレゼンテーション、質疑応答、午後からは、昨日に引き続き、ポスターセッション、表彰式、講評が行われました。高校生の研究発表会としては、その「質」「量」共に、最高峰の良質体験の場です。

発表を終えた高校三年生CSコースの四名は、「レベルの高さ、質の良さ、内容の深さを感じた」「多くの発表が、高価な実験機器に頼るのではなく、知恵と工夫で自作していた」「全国から集まってきただけあって、ディスカッションに対する姿勢が違っていた」など、これまで体験してきた発表会では感じることができなかった貴重な体験を噛みしめていました。その表情は、充実感に満ち溢れていました。

第二十回親子で楽しむ科学教室

七月二十六日（土）に本校で「第二十回親子で楽しむ科学教室」を開催しました。本校の理科の教員が主導となり、本校生徒たちが補助員ならぬ「小さな先生」として、丁寧に実験のお手伝いをしました。

今年は「ものの動きのふしぎ」



「リニアモーター」「生きものの動きのふしぎ」「ゾウリムシ」「ものの変化のふしぎ」「レモン電池」というテーマで、それぞれの実験を体験していただきました。最後にはお見送りを兼ねて、毎年恒例手作り熱気球を、本校の自然科学部の生徒たちが披露しました。

親子で楽しむ科学教室に参加した方々も、順番に熱気球を飛ばし、最後の最後まで体験をしながら、科学を学び、楽しんでいただけました。

参加した親子さんからは、「普段ではできない体験ができ、意欲が高まりました。また来年も参加します。」「楽しかったから、武庫女に入りたいです。」と感想を頂きました。

中学グローバル研修inタイ

八月二日（土）から八日（金）までの七日間、中学グローバル研修希望者二十一名がタイでの研修に参加しました。



初日は関西空港から出発し、バンコクを経由してチェンマイに到着して、翌日からホームステイが始まりました。サラサート校での温かいおもてなしに生徒たちは感激しました。

三日目は市内観光で、チェンマイ最古のワットチェンマンや大仏塔のあるワットチエディルアンを訪れました。正式なお参りを体験した後、民族衣装をまとうって伝統菓子作りや遊び、うちの給付けなどに挑戦して現地の生徒と共に学びました。

「日本にはない文化を体験できて、とても楽しかったです。言葉は違っても気持ちは通じ合えると感じました」と笑顔で振り返り交流を深めました。

四日目は象に乗り、川や山道を進む貴重な体験をしました。象のショーでは絵を描く姿に歓声が上がり、その賢さに驚かされ、「象の背中から見る景色

は迫力があって一生の思い出になりました」と話す生徒もいました。

五日目にはフェアウェルセレモニーが行われ、タイ舞踊の披露に続いて学院歌の合唱や生徒代表による英語スピーチで感謝を伝えました。別れの場面では涙ぐむ生徒も多く、短期間ながら深い絆を築けたことを実感し、「ホストファミリーと過ごした日々は本当に宝物です。また会いたいです」との声もありました。後半はバンコクに移動し、鉄道市場や水上マーケットを訪れました。迫力ある光景に驚きながら、地元の暮らしに触れることができました。三大寺院を巡った際には壮麗な建築や黄金の仏像に圧倒され、最後の夕食ではタイスキを味わいながら研修の思い出を語り合いました。

長いようであつという間に過ぎた七日間。異文化に触れ、言葉や習慣の違いを超えて交流した経験は、生徒たちにとって大きな学びとなりました。今回の研修で得た気づきや出会いは、これからの成長につながっていくことでしょう。

高校グローバル研修 in 北欧

八月三日(日)～十五日(金)の約二週間、二十六名の生徒が高校グローバル研修(北欧方面)に参加しました。



初日はデンマーク・コペンハーゲンでの市内研修として、環境とレジャーを融合した施設「コペンヒル」や、多国籍文化を体感できる「スーパードーレン公園」などを訪れました。昼食会場では、男女兼用のトイレに驚く様子や、自転車専用道路がどこにもある街並みを見ながら、ウェルビーイングな社会の在り方を五感で学びました。

二日目はデンマークの教育機関「フォルケ・ハイスクール」のひとつ、International Peoples Collegeを訪ねました。成績や入試がなく、対話を重視する教育方針から、日本の教育方針との違いを学びました。

三日目は、世界で最も古いテマパークのうちの一つであるチボリ公園で、現地の高校生たちと異文

化理解を深めながら、友情を育む時間となりました。四日目にはスウェーデンへ移動し、ストックホルムでの市内研修や、二泊三日間の大自然の中の生活を通じて、北欧の人々の暮らしや余暇の過ごし方を体験しました。

研修の終盤には、大きな船でスウェーデンからフィンランドへ移動し、教育提携校であるガウディア校を訪ねました。二泊三日のホームステイを体験しながら、学校交流もし、学校生活における異文化理解を深めました。最後には、フィンランドならではの職業学校を見学させてもらったり、森の中で本研修を振り返る落ち着いた時間を過ごし、参加者全員が互いの意見を尊重しあい、「みんな違って、みんないいこと」の本義を捉えることができ、心があたたかくなりました。

高校野球

八月五日(火)に甲子園球場で行われた「第一〇七回全国高等学校野球選手権大会」の開会式司会を放送部の竹内舞桜さん(高二)と宮本リリさん(高三)が務めました。



毎年、NHK杯全国高校放送コンテスト兵庫県大会のアナウンス部門で、上位の生徒が担当する開会式の司会。今年は約十五年ぶりに、開会式の司会の二人ともが本校の放送部員でした。竹内さんは「昨年は開会式を務めましたので、今年は開会式の第一声を発することができてとても嬉しかったです」と振り返り、宮本さんは「憧れの舞台上で声を届けられ嬉しく思います。今まで関わってくださった皆さんに感謝して司会をしてきました」と話してくれました。

後期教育実習

九月三日(水)～二十五日(木)の三週間、武庫川女子大学などの学生による後期教育実習が行われました。国語一名、書道一名、英語一名、保健体育七名、家庭科一名、理科一名の十二名の実習生が教員を志し、本校での実習に取り組みしました。実習生代表の源紗綾さんは、「生徒と関わる中で、工夫を重ねて伝えることで少しずつ形になっていき、大き

なりがいを感じました。成長や笑顔を間近で感じられる喜びを実感することができ、有意義な三週間でした。今回の実習で学んだことを今後に活かしていけるように頑張ります」と話してくれました。頑張って先生になってくれることを期待しています。



新任教員の紹介



北濱 雛子先生(理科)
六月より着任いたしました。理科の授業を担当させていただきます。生徒の皆さんが授業を楽しみながら、理科の世界への興味を深められるよう努めてまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

体育大会のご案内

日時 令和七年十月四日(土) 九時開会式
雨天時 十月五日(日)
場所 武庫川女子大学総合スタジアム
(阪神甲子園駅から現地まで有料バスを運行します)

武庫女の体育大会の一番の見所は、各学年がそれぞれ力を合わせて行う壮大なマスメームです。競技はもちろん、生徒たちの互いのエール交換、どこを切り取っても、生徒たちが全力で楽しんでいる姿をご覧ください。また、創作ダンス部、バトントワリング部が演技を披露いたします。在校生の保護者等の方々は、入場券のご持参をお忘れなくお越しください。

小・中学生対象 体育大会観覧のご案内

日時 10月4日(土) 10時～14時
場所 武庫川女子大学総合スタジアム
※ホームページより申し込んでください。

中学生対象 ミニ説明会のご案内

日時 10月25日(土) 10時～11時
場所 武庫川女子大学西宮北口キャンパス
※ホームページより申し込んでください。

小学六年生対象 プレテストのご案内

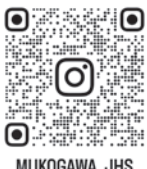
日時 11月2日(日)
プレテスト
2科目受験 9時30分～11時30分
3科目受験 9時30分～12時40分
入試説明会 9時30分～11時15分
場所 本校
出願締切 10月28日(火) 12時
※ホームページより申し込んでください。

小・中学生対象 個別相談会のご案内

10月4日(土) 10時～14時(体育大会見学)
場所 武庫川女子大学総合スタジアム
10月17日(金) 17時～20時
18日(土) 9時～12時
場所 武庫川女子大学鳴尾ステーションキャンパス
10月25日(土) 10時～12時
場所 武庫川女子大学西宮北口キャンパス
10月26日(日) 9時～12時
場所 本校
(五ツ木駿々堂模試会場)
※詳細は、ホームページをご覧ください。

学校公式インスタグラムもぜひご覧ください！

本校は、学校公式インスタグラムを開設しています。学校行事や、普段の学校生活を紹介していますので、学校ホームページも含めぜひご覧ください。



MUKOGAWA_JHS

☆様々な分野での活躍☆

○新体操部

・第69回兵庫県中学校総合体育大会新体操選手権大会
ヴィクトリーナウインク体育館（7／27）

団体 優勝

小西 愛華（中3）・梅野みいな（中3）
田中 莉音（中2）・中村 咲良（中2）
安達まりい（中2）

・第74回近畿中学校総合体育大会新体操選手権大会
滋賀県ダイハツアリーナ（8／11）

団体 第4位

小西 愛華（中3）
梅野みいな（中3）
田中 莉音（中2）
中村 咲良（中2）
安達まりい（中2）



○バントワリング部

・第22回兵庫県バントワリング選手権大会

グリーンアリーナ神戸（7／21）

ソロトワールU-18 第3位 上村 小梅（高3）
2バトンU-18 第2位 三上 真央（高3）

○バレーボール部

・JVA第16回全日本ビーチバレーボールU15選手権大会4人制
神奈川県湘南・藤沢市鵠沼海岸（8／16・17）

優勝 平松ひなこ（中3）

○体操部

・第69回兵庫県中学校総合体育大会
体操競技選手権大会
姫路市ウインク体育館（7／26）

団体 第3位

池田 来実（中3）・井上咲莉彩（中2）
竹島 梨乃（中1）・村山 瑞（中1）

・第74回近畿中学校総合体育大会体操競技大会
滋賀県栗東体育館（8／9・10）

団体 第4位

池田 来実（中3）・井上咲莉彩（中2）
竹島 梨乃（中1）・村山 瑞（中1）
3種目個人総合 第2位 竹島 梨乃（中1）

・第79回近畿体操競技選手権大会
ジェイテクトアリーナ奈良（7／20）

跳馬 第3位 野中こもも（高3）

兵庫県団体 第2位

国民スポーツ大会出場

○水泳部

・第79回近畿高等学校選手権水泳競技大会
インフロンニア草津アクアティクスセンター（7／21～23）
50m自由形 第7位 左脇 舞乙（高3）

・第68回兵庫県高等学校ジュニア選手権水泳競技大会
ポートアイランドスポーツセンター（9／6・7）

女子総合 第3位
4×100m メドレーリレー 第2位

皐月 静（高2）・永田 杏（高1）
江端美月季（高1）・大川 真愛（高1）
100m平泳ぎ 第3位 皐月 静（高2）
200m個人メドレー 第3位 永田 杏（高1）

○コーラス部

・第92回NHK全国学校音楽コンクール兵庫県大会
明石市民会館アワーズホール（8／6・7）

中学生部門 金賞
高等学校部門 金賞

近畿大会出場
全国大会出場

・第92回NHK全国学校音楽コンクール近畿大会
NHK大阪ホール（9／6・7）

中学校の部 銀賞
高等学校の部 金賞

全国大会出場

・2025年度 兵庫県合唱コンクール
兵庫県立芸術文化センター
KOBELCO大ホール（8／16）



○放送部

・第72回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会
国立オリンピック記念青少年総合センター・NHK
ホール（7／21～24）

アナウンス部門 入選

竹内 舞桜（高3）
宮本 リリ（高3）
鬼頭 咲良（高2）

朗読部門 入選
高田 結衣（高3）
福岡 実歩（高3）



○硬式テニス部

・第69回兵庫県中学校総合体育大会
テニス競技
神戸総合運動公園（7／26）

優勝 長藤 愛菜（中3）
土岩 優羽（中2）



・第74回近畿中学校総合体育大会テニス競技
大石緑地スポーツ村（8／5・6）

準優勝 長藤 愛菜（中3）・土岩 優羽（中2）

○カヌー部

・全国高等学校総合体育大会カヌー競技大会
第41回全国高等学校カヌー選手権大会

島根県カヌーパークみさとカヌーレймаー（7／31～8／5）

W K ー 1 500 m 第5位 杉本 深寛（高3）

W K ー 1 200 m 第5位 杉本 深寛（高3）

W K ー 2 500 m 第4位 杉本 深寛（高3）

W K ー 2 200 m 第7位 杉本 深寛（高3）

W K ー 4 500 m 第4位 杉本 深寛（高3）

W K ー 4 200 m 第4位 杉本 深寛（高3）

W K ー 4 200 m 第4位 杉本 深寛（高3）

W K ー 4 200 m 第4位 杉本 深寛（高3）

W K ー 4 200 m 第4位 杉本 深寛（高3）

W K ー 4 200 m 第4位 杉本 深寛（高3）

W K ー 4 200 m 第4位 杉本 深寛（高3）

W K ー 4 200 m 第4位 杉本 深寛（高3）

W K ー 4 200 m 第4位 杉本 深寛（高3）

W K ー 4 200 m 第4位 杉本 深寛（高3）

W K ー 4 200 m 第4位 杉本 深寛（高3）

女子総合 第4位 武庫川女子大学附属高等学校

・第79回国民スポーツ大会近畿ブロック大会
音水湖カヌー競技場（7／12・13）

少年W K ー 1 第2位

少年W K ー 2 第1位

有本 輝（高3）

塩谷望恵瑠（高1）

少年W K ー 4 第2位

鈴木 結稀（高1）

安藤 万結（高1）



・令和7年度日本カヌースプリントジュニア選手権大会
精進湖カヌー競技場（8／19～22）

女子カナディアンシングル

500 m 第4位 原田 紗和（高1）

200 m 第6位 原田 紗和（高1）

○美術部

・「第5回アート・ティーン展」(三木市教育委員会主催)
三木市立堀光美術館（8／6～24）

入選 「リナポポ」 北川 華恋（高1）

入選 「空に咲いた幻」 林 玲希（高1）

入選 「マーガレットの咲く丘」 奥田 夢叶（中3）

10月行事予定

日	曜	行事予定
1	水	A週
2	木	A週月曜授業実施
3	金	校祖の日特別行事（8：35 AV1） 45分4時間授業 体育大会準備（午後）
4	土	体育大会（総合スタジアム）
5	日	（体育大会予備日）
6	月	B週 振替休日（10／4分）
7	火	ブラウンライスイーク（～10日）
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	休日
12	日	
13	月	A週 スポーツの日
14	火	中間考査（高校）
15	水	中間考査（中学・高校）
16	木	中間考査（中学・高校）
17	金	中間考査（中学・高校） 指定校推薦出願説明会（13：00多①）
18	土	探究中間発表会（1～4限）
19	日	漢検（希望者）
20	月	B週 中学学力推移調査 高1高2スタディサポート ※会食
21	火	
22	水	
23	木	防災訓練（45分×6時間授業＋訓練）
24	金	全校朝礼・表彰（8：35 グラウンド）
25	土	休日 高3共通テスト模試（希望者） 高1、高2進研記述模試（希望者）
26	日	五ツ木模試会場・個別相談会（午前） 高3共通テスト模試（希望者） 高1、高2進研記述模試（希望者）
27	月	A週 考査得点確認票配布
28	火	考査成績表配布
29	水	
30	木	
31	金	

※4日雨天時火曜日授業（B週45分4時間授業）・7日振替休日